

保護者の願い

国会議員の先生方には、本日大変ご多忙の中ご臨席いただき、誠にありがとうございます。また平素より私学教育の振興、発展にお力添えを賜り、重ねて御礼申し上げます。

現在、我が国の学校では、多種多様な社会に対応し力強く生き抜くグローバル人材の育成を目指して様々な教育改革が進められています。

その一方で、学校、保護者、子供たちは、未だ収束の目途が立たない新型コロナウイルス感染症への終わりの見えない対応の中で混乱し、疲弊しています。修学旅行の中止、学園祭の縮小、部活動の制限等、大切な学校行事の多くが延期や変更を余儀なくされ、当たり前の学校生活を当たり前のように送ることが出来ない日々が続いています。このような子供たちの不憫な現状を見るにつけ、胸が締め付けられる思いがいたします。

しかし、それでもなお子供たちは、自分たちの置かれている困難な状況と向き合い、克服しながら勉学や部活動に精一杯励んでいます。コロナ禍の中にあっても子供たちが主体的に深い学びを継続し、自らの進路をたくましく切り拓き、将来社会の担い手として活躍、貢献できるように成長することが、私たち保護者の何よりの願いです。

私たちは、私立学校が独自に掲げる建学の精神に基づいた特色ある教育に賛同し、私立学校に進学する道を選びました。決して経済的にゆとりがある家庭ばかりではありません。これからも家庭の経済事情によって子供たちの自由な学校選択が妨げられることなく、自らが望む最適な教育を受け続けられますことを切に願っております。

本日もご臨席の国会議員の先生方には、令和4年度私学関係政府予算の編成にあたり、コロナ禍に苦しむ私立学校と保護者、子供たちのため、1人1台のパソコンの配備や空調・換気設備の整備をはじめとする教育環境のより一層の充実と、保護者の経済的負担の更なる軽減のため、格別のご理解とご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

令和3年11月24日

私学振興全国大会 保護者代表

大阪私立中学校高等学校保護者会連合会顧問 辻尾真弓